



長岡まつり

こころに響く
満天の華

スケールも、感動も。今年も熱い長岡の夏。

8/1-3

NAGAOKA
Summer Festival



長岡開府400年
ROOTS
400 越後長岡

NAGAOKA SUMMER FESTIVAL

頭上で開く大輪の華、 その光は長岡の復興・平和の象徴

100万人が心を奮わす長岡の夏の代名詞
広大な信濃川河川敷で繰り広げられる大花火大会

長岡まつりのはじまり

昭和20年8月1日午後10時30分。長岡の市街地にB29大型爆撃機が来襲しました。爆撃は1時間40分間にも渡り、市街地の約8割が焼きつくされ、燃え盛る炎の中に1,480余名の尊い命が失われました。

長岡空襲から1年後の昭和21年8月1日に開催されたのが、長岡まつりの前身の「長岡復興祭」です。この祭りは長岡市民の心を慰め、まちを復興へと奮起するものとなり、これが「長岡まつり」と名前を変え、現在に至っています。

歴史と伝統の長岡花火

長岡の花火大会は、明治12年千手町八幡様の祭りで350発の花火を打ち上げたのが始まりとされています。その後、長岡花火の技術の向上や新しい花火の開発が進み、大正6年には二尺玉、15年には正三尺玉が登場。昭和の初期には長岡花火は全国に広く知られるようになりました。しかし、太平洋戦争が始まると花火大会は中止に。

そして、花火大会は昭和22年の「長岡復興祭」で空襲の犠牲者への慰霊と復興に立ち上がる人々を勇気づけるため復活。昭和26年には「長岡まつり」と名称を改め、正三尺玉の打ち上げを復活しました。

長岡花火には長岡空襲で亡くなった方への慰霊、復興に尽力された先人への感謝、恒久平和への願いなど、長岡市民の特別な想いが込められています。

慰霊と平和への願い

長岡市では、8月1日は、長岡空襲で犠牲になられた方々を悼み、戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さを次代に伝え、広く世界に向けて発信する「恒久平和の日」。この願いを込めた行事を市内各所で行っています。

長岡まつりを華やかにスタートする1日の「前夜祭」は、平成30年から「平和祭」へと名称を変更し、市民の恒久平和への願いを伝えていきます。

平和関連行事

7月31日



平和の森コンサート



柿川灯籠流し

8月1日

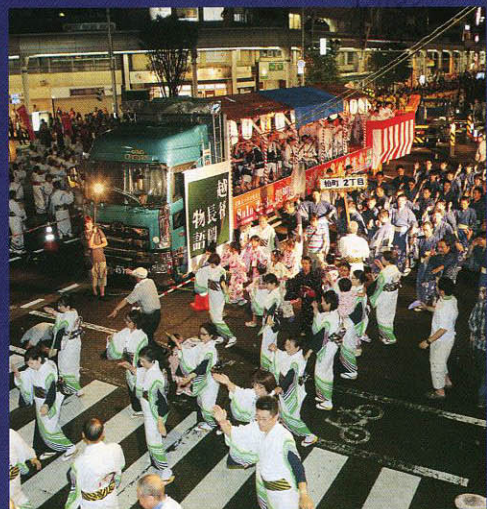
慰霊の花火打上げ

長岡まつりでは、昭和20年8月1日に長岡空襲の始まった同じ時刻、午後10時30分に白一色の3発の尺玉の花火、「慰霊と平和への祈り」を打ち上げ、市内の寺院では、慰霊の鐘を鳴らします。

8月2日、3日の大花火大会でも冒頭で、慰霊の花火が打ち上げられます。



1日 平和祭



大民踊流し



悠久太鼓

越後長岡慰霊神輿渡御



1日 平和祭

※前夜祭から名称変更しました。
悠久太鼓/パレード/大民踊流し/越後長岡慰霊神輿渡御

2日 昼 ふれあい広場 夜 大花火大会

3日 昼 わんぱくおまつり広場 夜 大花火大会

◎平和祭、昼行事は大手通り周辺

◎大花火大会は信濃川河川敷(長生橋下流)



2日 ふれあい広場



3日 わんぱくおまつり広場



発行 お問合わせ **長岡市観光・交流部観光事業課**

〒940-0062 長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト長岡市役所大手通庁舎6階

TEL 0258-39-2221 FAX 0258-39-3234

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kankou/event/nagaokamatsuri.html#02>



長岡花火の見どころ



正三尺玉(三十号)花火

直径90センチメートル、重さ300キロ。この巨大な玉が600メートル上空まで打ち上げられ、直径650メートルもの大輪に広がります。使用する火薬の量は80キロで、現在法的に認められている最大重量。長岡花火の総合技術の粋を集結した傑作。

ナイアガラ

信濃川に架かる長生橋と大手大橋それぞれに延長650メートルもの花火を仕掛けます。大瀑布が川面に流れ落ちるさまは、ナイアガラの滝を再現する超豪華版の仕掛け花火として高い人気を博しています。8月2日、3日で合計4台を打ち上げます。



※  はミュージック付スターメイン



ワイドスターメイン

平成8年市制施行90周年を記念して打ち上げ。5か所から同時に打ち上げる色彩鮮やかなワイドスターメインは迫力ある光のページェントです。



ミラクルスターメイン

平成10年に、より一層趣向を凝らした豪華な花火が誕生。名称は、同年市民等からの公募により決定されました。数か所から同時に打ち上げられ、斜めの打上げ、横の広がり、縦の高さなど、他とはひと味違う「ミラクル」な世界へ皆様をいざなうことでしょう。

米百俵花火・尺玉 100 連発

昭和61年市制施行80周年を記念して誕生した名物花火で、ワイドスクリーン方式により約1秒間隔で十号玉花火が打ち上げられます。



復興祈願花火「フェニックス」

平成16年10月23日に発生した中越大地震からの復興への祈りを込めて誕生。開花幅2キロメートルにもおよぶ圧倒的なスケールの超ワイドスターメインで、黄金の不死鳥が連なって空高く舞い上がります。全国の皆様からの温かいご支援への感謝の気持ちと全国の被災地への勇気、世界の恒久平和への祈りを込め、打ち上げます。



「天地人花火」

大河ドラマ「天地人」の放送を記念して平成20年から登場しました。長岡ゆかりの武将、直江兼続の生涯を壮大なスケールで描く芸術性の高いテーマ花火です。最大9か所から打ち上げられる天地人花火は、夏の夜空を光りで埋め尽くします。



花火「この空の花」

長岡花火を題材にした映画「この空の花—長岡花火物語」の上映を記念して平成24年に打ち上げました。長岡市民の熱い想いをのせた平和を願う色とりどりの花が、映画の主題曲にあわせ夜空いっぱい満開になります。



花火「故郷はひとつ」

平成27年に市町村合併10周年を記念して誕生しました。夫婦で長年音楽活動をしている音楽家の宇崎竜童さんと作詞家の阿木耀子さんが作曲した曲に合わせて花火が打ち上がり、市民の想いを一つにします。



長岡花火

長岡花火公式ウェブサイト

一般財団法人 長岡花火財団 <https://nagaokamatsuri.com/>

